

インテグリティの 原則

BMS業務行動
倫理基準

本原則は私たちが求める最高水準の倫理的な行動を明記したもので、従業員の皆さん、患者さん、お客様、各種ステークホルダー、地域社会と関わる上での基盤となります。



Bristol-Myers Squibb

ミッション(私たちの使命)

深刻な病気を抱える患者さんを助けるための革新的な医薬品を発見、開発し、提供します。

コミットメント (私たちが約束すること)

私たちは、患者さんやお客様、従業員の皆さん、国際社会、株主、環境、および、その他ステークホルダーに対して、「全ての製品にとって最も大切な原料は、製品に携わる人のIntegrityである」という信念に基づいて行動することを約束します。また、健全な企業統治を行い、高い倫理観を持って行動します。企業としての透明性を追求するとともに、ステークホルダーのニーズを理解するための対話を大切にていきます。提携先や取引先と共に、持続可能な経済、社会、環境の実現のために真摯に取り組みます。

患者さんとお客様に対して

私たちは、深刻な病気を抱える患者さんの医療ニーズを満たす質の高い革新的な医薬品を提供するため、卓越した科学レベルを維持し、バイオ医薬品の研究開発に投資していきます。常に、厳密な科学的手法に基づき、臨床的に優れ、経済的にも合理性のある医薬品を提供することを通じて、患者さんの疾患の治療と生活の質の向上を図ります。また、私たちの医薬品に関する十分な情報が適切に入手できるよう努めます。

従業員の皆さんに対して

私たちは、多様な人材とあらゆる文化を受け入れ、共に働きます。従業員の皆さんの健康と安全、各々のプロフェッショナルな能力の開発、ワーク・ライフ・バランス、公平さと一人ひとりを尊重した待遇を最優先します。

国際社会に対して

私たちは、人々の健康を増進し、未来に向けて持続可能な社会をつくるため、誠実な市民として行動します。

株主に対して

私たちは、常に好業績を維持し、株主への価値を生み出すよう努めます。

環境に対して

私たちは、天然資源を守り、私たちの業務や製品が環境に及ぼす影響を最小限にするよう努めます。

従業員の皆さん

ご存知の通り、ブリストル・マイヤーズ スクイブは、最高水準の品質・搖るぎない倫理観・コンプライアンス・インテグリティの実現に向けて絶えず取り組んでいます。この原理原則は、私たちがどのような存在で、何を、どのように行うのかを定める中心的な価値観となります。

「インテグリティの原則：BMS業務行動倫理基準」（以下、本原則）には、こうした原理原則を私たちが日々の業務において実践する手法についてまとめています。本原則は様々な会社規程の基盤となるもので、同僚とのやり取り、提携先や取引先とのビジネス、患者さんや各國の地域コミュニティとの付き合いにおける共通の枠組みを提供します。

言うまでもなく、本原則は皆さんや皆さんの業務に有益なリソースとなる重要な文書です。ぜひ目を通し、必要に応じて参照してください。

質問や懸念事項があれば、直属の上司やマネージャーとお話しください。また、ローカル言語による24時間対応の電話サービスとウェブベースの報告システム「BMS Integrity Line」もご利用いただけます。なお、質問や懸念事項の報告、不適切な行動について勇気ある通報をした人に対する報復行為は絶対に禁止されていることを心に留めてください。

本原則の順守およびBMSの持続的な成長への皆さんの尽力に心より感謝いたします。

Giovanni Caforio

会長

CEO



Alan Lacy

取締役会監査委員会会長



インテグリティの 原則について

「インテグリティの原則:BMS業務行動倫理基準」(以下、本原則)は、法令を順守し、倫理観に基づいて業務を遂行する際の包括的なガイダンス(指針)です。本原則は、私たちの最高水準の倫理的な行動をまとめたものであり、従業員の皆さん、患者さん、お客様、株主および国際社会との関わり方のベースとなるものです。

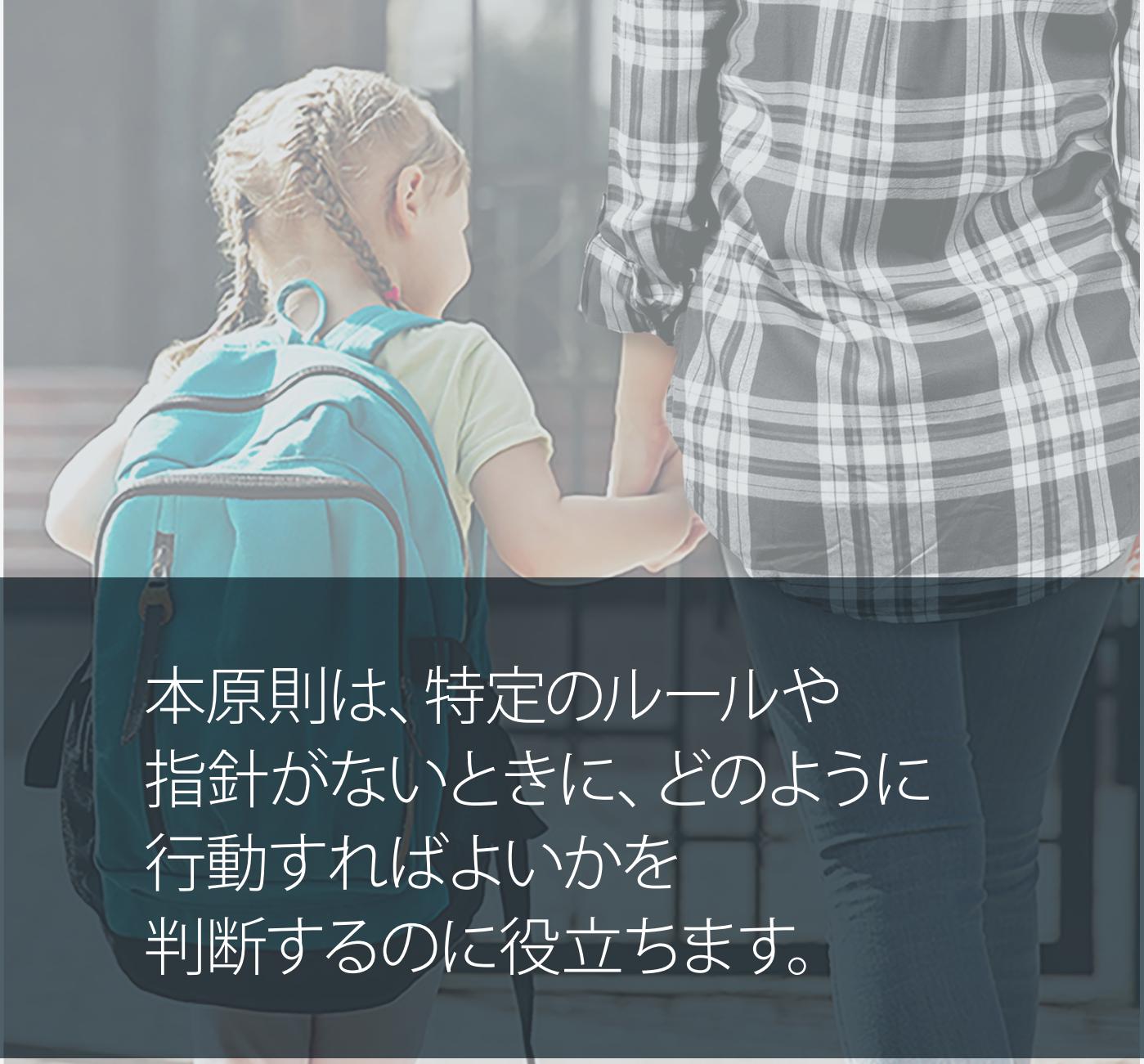
本原則は、皆さんに順守すべき法規制・会社規程・手順について完全に説明するものではありません。私たちは日々、数多くの複雑な状況に直面しますが、そのすべてに対応できるような包括的なルールを作ることはほぼ不可能です。本原則は、特定のルールや指針がないときに、どのように行動すればよいのかを判断するのに役立ちます。意思決定をする際には、「何が正しい行動か?」、「会社規程や関連法規に適合しているか?」、「一般社会やメディア、行政にどのように見られるか?」と自問してみるとよいでしょう。本原則に立脚し、かつこのような点を考慮すれば、極めて高い確率で正しい意思決定することができます。

本原則は、全従業員の皆さんとBMSの業務を請け負う業者に適用されます。本原則は、会社規程や他の手順書のベースとなるもので、これらが集まって私たちのコンプライアンス・プログラムが形成されます。コンプライアンス・プログラムを順守することは、複雑で競争が激しく、かつ厳しく規制された業界で、会社と従業員の皆さんに適切かつ効率的に事業を遂行するために極めて重要です。

皆さんは、本原則および業務上の手順書を理解し、それらに従う責任があります。本原則ならびに各種手順書について質問がある場合は、法務・コンプライアンス部門にお問い合わせください。

目次

■ 1. 患者さんの保護	7
■ 2. 従業員の保護	9
■ 3. 業務の遂行	13
■ 4. 組織の管理	17
■ 5. 内部統制の適用	19
■ 6. 出張・会議・経費の管理	23
会社規程インデックス	25
重要な連絡先情報	26



本原則は、特定のルールや指針がないときに、どのように行動すればよいかを判断するのに役立ちます。



患者さんの保護

私たちは、全ての活動の中心に患者さんを据えるという共通の目的を持ち、協力し合います。この考えは、医薬品を開発・製造・販促する上でのベースとなります。

科学と研究のインテグリティ

私たちは、深刻な病気を抱える患者さんの医療ニーズを満たす質の高い革新的な医薬品を提供するため、卓越した科学レベルを維持し、バイオ医薬品の研究開発に投資していきます。搖るぎない倫理観に支えられたインテグリティを持ち、「安全性に関する非臨床試験の実施の基準に関する省令」(Good Laboratory Practices, GLP)、「臨床試験の実施の基準に関する省令」(Good Clinical Practices, GCP)、動物実験について定めた「Good Animal Welfare Practices」など、適用される法規制や各種ガイドラインを順守しながら、研究開発に取り組みます。

データの開示

BMSは、科学情報の公表を極めて重視しており、公表物の内容に責任を負う著作者を支援します。眞の科学精神に則り、私たちは臨床試験の情報やデータを患者さんや医学／研究コミュニティ、メディア、政策立案者、一般の皆様と共有しています。私たちはこの取り組みを、患者さんのプライバシーとインフォームドコンセントを守り、国の規制システムとの整合性を尊重し、かつバイオ医学的研究における投資に対するインセンティブを維持するような方法で実践します。BMSの臨床試験結果は、米国立衛生研究所のウェブサイト(www.ClinicalTrials.gov)で公開されています。

品質

私たちはお客様の期待と規制要件を十分に満たし、お客様に最高の価値を提供すると評価される医薬品とサービスを提供します。また、世界各国の保健当局の規制を順守します。私たちは次にあげる事項を通じて、これらのコミットメントの達成を図ります。

以下のBMS会社規程をご参照ください。

以下のBMS会社規程をご参照ください。

BMS-POL-1 
患者さんの保護



患者さんの 保護

- 最高品質の医薬品とサービスの提供、ならびに卓越した科学レベルとイノベーションの追求
- 優れたデザイン、ならびに医薬品とプロセスの継続的な改善
- 戦略的事業計画における質の追求
- 品質とコンプライアンスを重視する企業文化を育むための法令および技術のトレーニング実施
- 最高レベルの品質ツールの継続採用
- お客様ニーズへの対応に向けてさらなる質の向上が不可欠であるとの認識
- 法規制を順守しつつ最高水準の品質を確保することへの個々人の責任意識
- 優れた品質を追求し、評価し、賞賛するリーダーシップの育成

私たちは、効果的な品質システムを構築するとともに、全社的にこのシステムを導入・維持するのに必要な組織とリソースを確保します。

安全性モニタリングと報告

BMSは、市販後、あるいは臨床試験中の医薬品に関する安全性データを監視・分析します。グローバルの安全性報告要件を確実に遵守するために、従業員の皆さんは自社製品に関する有害事象やその他の事象に気づいたら、速やかに報告してください。有害事象やその他の事象には、医薬品の使用に関する一時的な、好ましくない、あるいは意図しない兆候（ラボでの異常の発見を含みます）や症状、病気が含まれます。これらの事象が当該医薬品に起因するかどうかは関係ありません。有害事象の報告はEメール、あるいはコールセンター経由で可能です。連絡先の詳細、有害事象やその他の報告すべき事項の詳細については、以下のサイトをご参照ください。www.globalbmsmedinfo.com

製品保証

私たちは、自社の医薬品・ブランドの偽造・改ざん・窃盗・流用の防止に取り組んでいます。従業員の皆さんには、これらの可能性に気づいたら、コーポレート・セキュリティ、品質保証責任者、コンプライアンスの担当者および事業部の上長に24時間以内に報告してください。

データのプライバシー

私たちは情報源・主題・所有者・データの目的を問わず、個人情報を大切に取り扱い、確実に保護します。また事業運営の過程で、金銭や健康、福利厚生に関連する個人データを大量に受領・収集・保管・使用します。一部のデータには、皆さんの健康やお客様、消費者、研究テーマ、取引先、競合に関連する機密情報が含まれる場合があります。データのプライバシーに関する法令は国ごとに異なります。そのため、業務中の個人情報保護のサポートに向けて、グローバル・プライバシー・オフィスを設置しているほか、各種規程を制定しています。データ・プライバシー関連の法令について質問がありましたら、グローバル・プライバシー・オフィスに電子メール（global.privacy@bms.com）または電話（+1 877-578-4009）でお問い合わせください。

従業員の保護

私たちはお互いの価値を認め、尊重し合い、深刻な病気を抱える患者さんを助けるための革新的な医薬品を発見、開発し、提供するというミッションを共有しています。

お互いの尊重／職務規程

私たちは、最高水準の職務規程に従って行動し、関わり合うすべての人に対し、尊敬と尊厳の念を持って接するよう努めます。直接の対話または書面や電子ツールなどコミュニケーションの手段に関わらず、私たちは常にプロとして、失礼のない対応を心がけます。特に不快な言動、威圧的・敵対的な言い回しや行動、これらに準ずる職業倫理に反する行為は、本原則に反するものです。私たちは強力な関係を築き、インクルージョンの文化を育み、チームメンバーが同じ目標を達成するのを支援します。BMSのリーダーとマネージャーは、尊敬・正直・誠実・安全・信頼に支えられた前向きな職場環境を構築する責任を負っています。

社員のプライバシー

私たちは、従業員の皆さんの個人情報を大切に取り扱い、確実に保護しており、正当な目的がある場合以外は、個人情報の収集と使用を行いません。業務中の個人情報保護のサポートに向けて、グローバル・プライバシー・オフィスを設置しているほか、各種規程を制定しています。データ・プライバシー関連の法令について質問がありましたら、グローバル・プライバシー・オフィスに電子メール (global.privacy@bms.com)、または電話 (+1 877-578-4009) でお問い合わせください。

以下のBMS会社規程をご参照ください。

BMS-POL-2 ↓
従業員の保護





本原則に立脚すれば、
極めて高い確率で
正しい意思決定が可能です。

安全な職場環境

私たちは、同僚や自社製品の使用者、会社の施設内にいる方々、事業活動に従事している方々、一般の人々の健康・安全・福祉に配慮し、これらを守ります。私たちは、職場での事故、怪我、疾病、または他の同僚を危険にさらすような状況を適宜報告するなど、安全な職場環境の確保に責任を負っています。また、違法薬物やアルコール飲料とは無縁の職場環境を作り、過剰なアルコールの摂取や中毒、これに関連する職業倫理に外れる振る舞いを回避する責任を担っています。さらに、脅迫や暴力行為は許されません。本規程は、会社の施設内のみならず、出張や会議、業務関連の社交行事など施設外の場所においても適用されます。

インクルージョンの文化

地理的・民族的・文化的・個人的・職業上の異なるバックグラウンドを有する人々が一体となつたチームを作る能力は、市場で独自の競争優位を生み出します。私たちはグローバルレベルで人材の多様性を誇り、事業を遂行するあらゆる場所で差別を禁止する法令を順守します。また、皆さんのキャリア開発に向けて、やりがいのある有益な機会を提供し、皆さんの経験を豊かなものにします。

雇用機会均等： 差別およびハラスメントの禁止

私たちは、性別、人種、肌の色、宗教、国籍、年齢、身体的・精神的障害、妊娠、市民権の有無、有資格の退役軍人としての身分、配偶者の有無、性的指向、性同一性と表現、遺伝情報、その他の法律によって保護される個人の特性に基づいた差別やハラスメントのない機会均等を約束します。私たちは、不快な行為や表現等の歓迎されない行動、威嚇的・敵対的・攻撃的な表現・画像・行動に晒されることのないような職場環境の構築に努めます。このような行為は許容できるものではなく、本原則に反し、懲戒措置が科せられる場合があります。

人権

BMSは、国連の世界人権宣言（UDHR）の原則を全面的に支援しています。この人権宣言では、すべての人間の平等、生存権、自由と保障、個人の自由、経済的・社会的・文化的な自由を掲げています。私たちは、人権の保護を支援・尊重し、人権侵害を避け、ダイバーシティとインクルージョンに富んだ職場を作り、差別や嫌がらせがなく、皆さんが健康的で安全、かつ公平で尊重される環境の推進に取り組みます。

従業員の 保護

以下のBMS会社規程をご参照ください。
BMS-P01-2 従業員の保護



私たちは正直かつ誠実に
行動し、分からぬことがあれば
質問することを奨励しています。

業務の遂行

私たちは優れた評判の獲得・維持を重視しています。そのため、職場の内外におけるすべての業務上のやり取りにおいて、正直さと誠実さが不可欠であることを理解しており、このことを念頭に日々の業務を遂行しています。

汚職防止

BMSは世界中のいかなる場所でも、賄賂やキックバック、不適切な支払いを禁じています。支払いを拒否することでビジネスチャンスが失われることになっても、この方針は変わりません。私たちは、意思決定に影響を及ぼしたり、ビジネスの獲得・継続、不適切な優位性の確保につながったりする不適切な金銭の支払いや利益供与、その他価値あるものの提供を行いません。BMSは、米国海外腐敗行為防止法 (FCPA)、ならびに英国賄賂防止法と他国の同様の法律等の国際的な賄賂防止法に準拠することを約束します。

医療従事者との関係

私たちは医療活動を尊重し、医師と患者さんとの誠実な関係を支援します。また、医療関係者や患者団体、支払者などに対して、彼らの意思決定に不適切な影響を与えないように、あるいは与えていると見なされないように接します。私たちの研究や事業のために、医療関係者に調査員、コンサルタントまたは講演者としてのサービスを依頼する際には、法的かつ的確な事業目的を達成し、かつ条件が適用法と会社規程要件に適合する場合にのみ、かかるサービスを依頼します。また、適用される業界のガイドラインやその他の規制要件を順守し、自社の方針に適合する方法でのみ食事や接待を行い、教育的・臨床的・科学的な話し合いの場を持ちます。法令等の規定に応じて、私たちは医療関係者への支払い、または他の価値ある物品の贈答に関する情報を収集・報告・開示します。

以下のBMS会社規程をご参照ください。

BMS-POL-3 ↴
業務の遂行



業務の遂行

利益相反

私たちは、個人と会社間で利益相反が生じるような事態を回避します。外部から利益相反があると見られるだけでも、会社や個人の信用に影響を与えるかねないことを理解しています。事業上の意思決定は適切な判断および個人的な利益によらない客観性を持って行われます。潜在的な利益相反があるか定かでない場合、経営陣や法務部、または法務・コンプライアンス部門にお問い合わせください。

副業／職場外の個人活動

副業（社外での雇用）は、私たちの職務責任の遂行を妨げ、BMSの業務上の利益と相反する可能性があるため奨励しません。さらに、BMSの名称・情報・勤務時間・資産、または他のリソースを使用して副業、あるいは社外の個人的な活動を請け負うべきではありません。また、外部企業の取締役や役員、その他の責任ある地位を引き受ける前に、BMSの利益に潜在的に反していないかを考慮する必要もあります。これは、政府の要職に就いたり、慈善・民間・宗教・教育・公共・政治・社会的団体の業務に関与したりする際も同様です。利益相反とみなされる可能性がある場合は、アドバイスを仰ぎ、BMSの会社規程に基づく承認を得てください。

プロモーション活動

私たちは、品質・効能・安全性・価値に基づいて自社の医薬品を販売します。また、医療関係者と患者さんに対して、利点やリスクを含めて自社製品の臨床プロファイルの理解を促すようなプロモーション資材を作成します。広告とプロモーションは、正確であり、事実に基づいており、承認条件および適用法に適合しています。私たちは、医療関係者または患者さんに対して承認済みのプロモーション資材のみを使用します。

公正な競争

私たちはオープンで競争のある市場を支持し、自社製品の強みと価値のみを訴求します。また、公正な競争と取引慣習に関する法令を尊重・順守します。私たちは次に挙げる項目について、競合企業と不適切な協定の協議・契約締結を行いません：価格・コスト・販売の規定や条件、市場やお客様の割り当て、不正な取引制限、競合・お客様・仕入先の市場からの排除。私たちは、競合製品を誹謗中傷することなく、競合企業に対しても私たちと同等の基準で対応することを期待します。

国際間の取引

BMSのすべての事業は、米国政府による経済制裁や禁輸処置に従わなければなりません。BMSは、法務部が直接関与しない限り、そして法務部から事前に書面で承認を得ない限り、米国の禁輸措置や貿易制裁が科されている国との取引に関わりません。米国以外の国または地域的な組織が特定の国、事業体、個人との輸出や取引を制限する場合もあります。私たちは、当該政府が取引を制限している組織・人物リストに記載されている医療関係者のサービスには関与しません。また、物品や情報、ソフトウェア、技術の輸出入においては、適用される法規制を順守します。さらに、適用される反ボイコット法に倣い、ボイコットに参加するようにBMSに要請があれば、速やかに当局に報告します。

環境・安全・衛生

私たちは各地域コミュニティにおいて、環境面での持続可能性に配慮しつつ事業を展開します。また、資源保全や汚染防止、環境責任の原則を自社の事業プロセス・施設・業務・製品に採り入れています。さらに、政府・業界・教育機関・一般の方々と協力して、環境および安全衛生 (EHS) 関連の規制・研究・プログラムを実施します。私たちは環境保護とともに個人と公衆の衛生や安全を、日々の業務で責任を果たす不可欠な要素と捉えています。

政治活動

私たちは、政治プロセスには個人としての参加を奨励しており、個人の選択のもとで、政治目的のボランティア活動に従事するかを決定できます。個人的な政治活動のために、勤務時間、会社の資産や施設を使用してはなりません。BMSには、政府への働きかけを行うガバメント・アフェアーズ部門が存在します。同部門は、患者さんが私たちの医薬品を適切に利用できるようにする、ならびにバイオ医薬品の研究やイノベーションの政策支援を推進することを目的に活動しています。同部門が支援する政治活動への参加にあたっては、勤務時間や会社の資産・施設を利用できます。このような政治活動には、BMS Employee Political Advocacy Fund for Innovation (EPAF) の後援による教育イベントや草の根的な取組みが含まれます。EPAFは米国連邦選挙運動法に基づいて組織化された超党派の社員政治活動団体です。また皆さんは、いかなる政治献金も経費として清算することはできません。

購買と契約

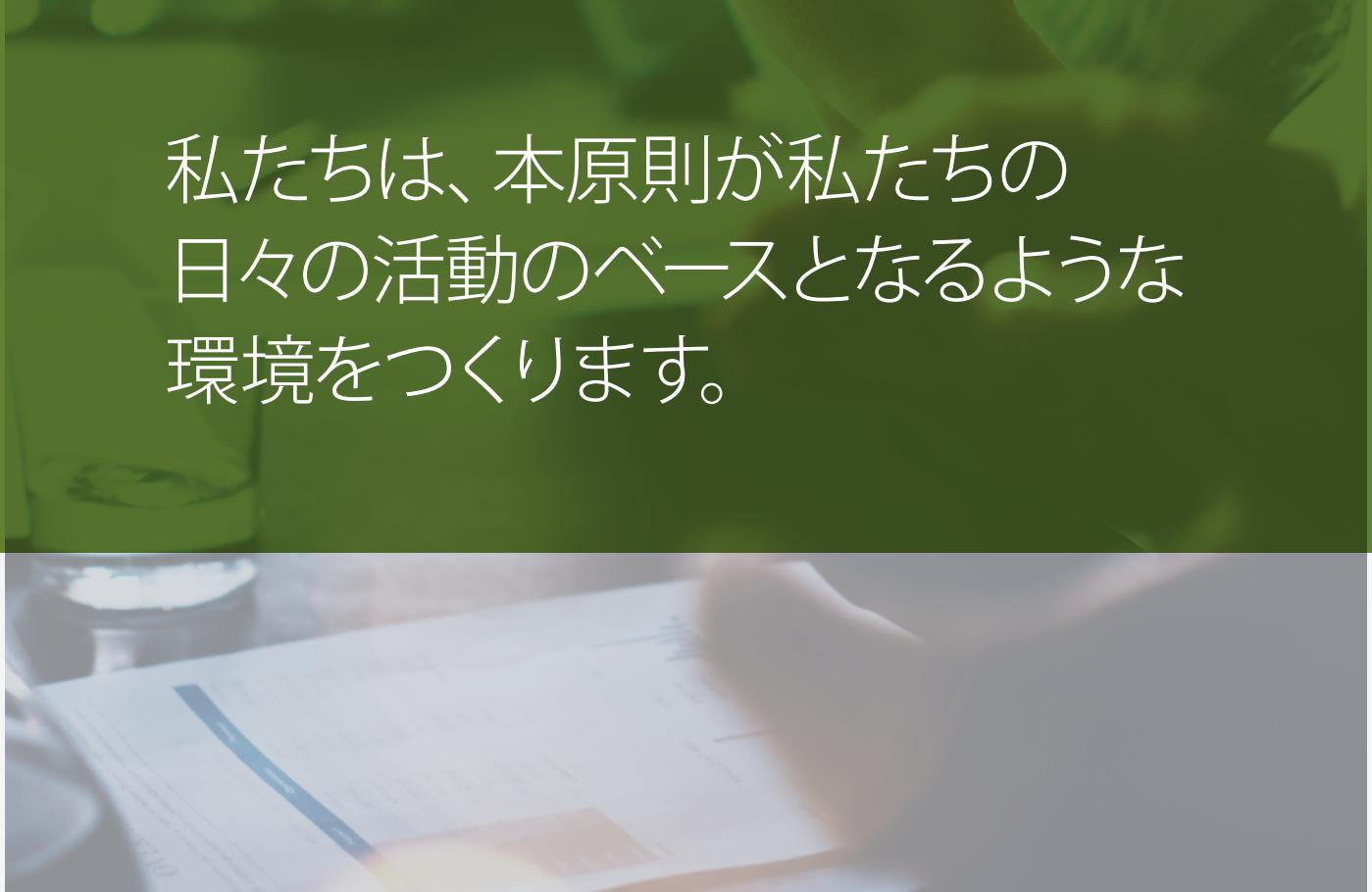
私たちは、品質・安全性・価格・提供される価値のみに基づいて物品とサービスを購入し、取引先にもインテグリティと公正取引の点で私たちと同等のコミットメントを期待します。私たちは、購買決定する際に利益相反を避けるように取り組んでいます。グローバル調達部、契約センター・オブ・エクセレンスおよび法務部と協力して、契約書や個別契約書など、適切な書面による契約が交わされていることを確認します。これらの文書は私たちの利益を守り、準拠法に倣うとともに、自社の価値・倫理基準・インテグリティへのコミットメントとも適合しています。

Corporate Giving

BMSは善良な企業市民として、事業を展開する地域にプラスの影響を及ぼすような金銭および物品の支援を手がけます。Corporate Givingを通じて、患者さんの支援やコミュニティの形成に加えて、科学分野の理解促進に向けて取り組みます。



私たちは、本原則が私たちの日々の活動のベースとなるような環境をつくります。



組織の管理

私たちは、インテグリティの原則が私たちの日々の活動に組み込まれ、コンプライアンスと倫理的行動が評価・尊重される環境を構築します。

法規制の順守

私たちは、業務に関わるあらゆる法規制や会社規程を順守します。多くの場合、本原則は法規制の要求より高いレベルを求めていきます。法規制は、私たちが事業を展開する国や州、または所属するBMSの事業体によって異なる場合があります。私たちは当該国や州の法令を順守します。また、BMSは米国を拠点とする公開企業であるため、米国法を米国外のBMSの事業体に適用しているケースもあります。私たちは、自分たちの事業活動に適用される法規制を理解する必要があります。不明な点は、BMSの法務部にお問い合わせください。

本原則の適用

私たち一人ひとりが、本原則に基づいて職務や業務上の意思決定を下す責任を負っています。自らの職務に影響を及ぼす手順書を理解し、質問がある場合は上司や他のBMS担当者に確認してください。マネージャーの皆さんには、本原則と手順書に関して追加の責任を負います。マネージャーの皆さんには、コンプライアンス文化を醸成し、本原則へのコミットメントを示し、最高水準のインテグリティを持って行動するなど模範となることが期待されています。また、自らが管理する活動に特に影響する規程や手順書について明確にし、部下の皆さんのが効率的かつ適切に業務を遂行するのに必要な研修を受講できるようにします。また、きちんと質問に応え、違反の可能性に関する報告を受けられるよう準備します。法令や規制、手順への違反の可能性に関する報告を受けたマネージャーの皆さんには、こうした懸念事項を法務・コンプライアンス部門に報告しなければなりません。BMSのリーダーとマネージャーの皆さんは本原則について定期的に協議する場を持ち、本原則が業務上の意思決定を下す上で欠かせないものとして受け入れられている職場環境を構築する必要があります。

以下のBMS会社規程をご参照ください。

BMS-POL-4 ↓
組織の管理



組織の 管理

懸念事項の報告とサポートの獲得

本原則やBMSの手順書について質問がある場合は、上司または担当者に連絡してください。BMS規程への違反の可能性、または違法もしくは倫理に反する業務上の振る舞い、疑わしい会計、内部統制、監査の問題について懸念がありましたら、次に挙げるいずれかのチャネルを選んで報告してください。

- 上司
- 人事部または担当者
- 担当役員
- 法務部の弁護士
- 法務・コンプライアンス部門
- BMS Integrity Line

BMS Integrity Lineに直接報告いただいてもかまいません。この報告チャネルを使用したからといって不利益を被ることはありません。懸念事項の報告にあたっては、虚偽の告発を招いたり、助長したりする意図があつてはなりません。

懸念事項が提起されたらどうなる?

該当するマネージャーと従業員が、すべてのアドバイス要請に応え、不適切な行為に関する報告を慎重に検討します。必要に応じて調査も実施します。皆さんは調査に協力し、誠実で率直であることが求められます。懲戒処分や是正措置は、事実関係や状況に基づいて決定されます。法令や本原則、あるいはその他の会社規程に反した場合、違反した社員は現地の法令や団体交渉による合意によって認められる範囲内で、雇用契約の解除を含む懲戒処分に処せられる場合があります。不適切な行為を報告しない、意図的に虚偽の報告を行う、あるいは調査への協力を拒否するといった場合も、懲戒処分の対象となることがあります。

コーポレート・オンブズマン

職場の懸念はその性質や機密性に応じて、代替ルートを使って対処することが最善な場合があります。このような場合、従業員の皆さんはコーポレート・オンブズマンに連絡を取ることができます。コーポレート・オンブズマンは、中立で公正な立場で組織内の正当性を確認し、上司や人事担当者など所定の経路を通じて解決できない職場の懸念に対して、公正で公平な解決策を見出すために取り組みます。コーポレート・オンブズマンは、関係者の権利や義務を考慮しながら、独立した立場で問題を検討して解決を手助けします。

報復行為の禁止

オープンなコミュニケーションは、私たちの成功に不可欠です。業務の進め方について、皆さんが気軽に質問ができ、懸念の声を上げ、適切な提案を行える職場環境の構築に取り組んでいます。私たちは、不適切な行為について問題や懸念を提起したり、善意の報告を行つたりした従業員に対する報復行為を許しません。

全社的なリスクの管理

全社的なリスクを認識、評価、管理した上で、より的確な意思決定をします。また、BMSのオペレーションを全体として捉えた上で、事業目標の達成を支援します。

内部統制の適用

私たちはいかなる時でも、正確性や品質、BMSの情報やその他の資産の適切な取り扱いと使用を約束します。また、常にインテグリティを持って行動します。

製品在庫レベル

私たちは、直接のおよび間接的なお客様の需要を考慮した在庫、特別な状況を考慮した適切な在庫レベルを確保します。私たちは、前記の目的と整合性の取れた製品在庫管理に関する規程と手順を実践するために、合理的な範囲で最大限の努力を講じます。

企業の記録

適正な業務上の意思決定を下すには、正確な情報が求められます。私たちは、正確で完全な業務記録とそれを補完する情報を保管します。これには、財務・会計記録、出張・接待経費、業務と勤務時間の記録、および会社のために作成した記録などが含まれます。私たちは会社規程と手順に従って、秘密情報を慎重に取り扱います。また、会社規程と法務部からの指示に従い、電子記録を含む文書を保存します。

機密情報の保護

業務の過程で、私たちはBMSまたはBMSのビジネスパートナー、取引先、お客様に関する秘密情報を作成・入手することができます。会社の利益を守るため、私たちはこうした情報を業務上合理的に知る必要がない社内外の人と共有しません。かかる情報の共有が適切な状況では、必要な承認を得た上で、秘密保持契約を締結します。特定の情報の秘密性や権利関係について確認をしたい場合、法務部にアドバイスや助言を求めます。秘密情報を保護する私たちの義務は、BMSに雇用されている間、および雇用関係の終了後も継続します。

以下のBMS会社規程をご参照ください。

BMS-POL-5 ↓

内部統制の適用





本原則は私たちがおこなう業務上の意思決定の一部となります。本原則は、私たち自身の存在を反映するものです。

内部統制の適用

企業資産の保護

私たちは、BMSの資産とリソースを大切に取り扱い、かかる資産を使用して会社のミッションを推進することに努めます。また、設備、資金、不動産、在庫またはその他の価値ある物品を含む、BMS資産の保護に取り組みます。私たちは、BMS資産の窃盗や破壊は会社に損害をもたらし、禁止されます。また、業務以外の目的、プロジェクトのためにBMS資産を使用するにあたっては、事前に許可を得ます。

知的財産

事業と製品のイノベーションはBMSの最も価値ある資産です。特許・企業秘密・著作権・商標・ロゴ・業務プロセス・研究・お客様・仕入先リストなどの知的財産は、BMSに競争上の優位性をもたらします。私たちは創造的であること、新しいアイデアや手法を取り入れる情熱を共有すると同時に、イノベーションや知的財産を保護する責任を共有します。また、これらの知的財産を損失、盗難、その他の誤用から保護します。さらに、第三者の知的財産権を尊重します。

情報公開

BMSは財務、事業およびその他の事項に関する情報を正確かつ迅速に、投資家や政府機関、一般の方々に提供します。米国証券取引委員会（SEC）またはその他の政府機関に提出する報告や文書、ならびに一般に公開される情報はすべて、誤解を招かないよう公正で正確、かつ理解しやすい内容としています。本原則の順守を徹底するため、特定の従業員のみがBMS情報の開示する権限を持ちます。

重要な非公開情報

私たちは、BMSや取引先に関する機密情報または重要な非公開情報を、承認されていない社内外の人物に公開してはなりません。重要な非公開情報とは、公にされていない機密情報で、合理的な投資家が株式の売買を決断する際に重要な判断材料だとみなす情報です。重要な非公開情報を取り扱う方法は、法令と会社規程で定められています。こうしたルールは特定の情報をいつ、どのように公開する必要があるのかについて規定しています。

以下のBMS会社規程をご参照ください。
BMS-POL-5 内部統制の適用

内部統制の 適用

有価証券取引

私たちは、BMSまたは他企業に関する重要な非公開情報を個人の利益目的で使用しません。また、かかる情報に基づいて有価証券を取引せず、こうした情報を第三者に提供しません。有価証券には株式、シェアユニット（パフォーマンス シェア ユニットとマーケット シェア ユニットを含みます）、ストックオプション、手形、無担保債券などがありますが、これらに限りません。私たちは、BMSまたは取引先の秘密情報を公開前に入手することがあります。こうした非公開または「内部（インサイダー）」情報は極めて重要です。BMSまたは取引先の重要な非公開情報を入手した場合、これらの情報を最高機密として取り扱い、かかる情報をを利用して株式の売買をしてはなりません。この種の重要な非公開情報には、次のようなものがあります。

- 社内の財務情報
- 新事業の開始
- 新薬の開発・承認・未承認、技術革新
- 他社の買収、子会社の売却、重要なライセンスの売却、提携契約など重要取引の計画
- 重要な訴訟、または政府機関による調査の開始または終了
- 株価に影響を及ぼすような重要な開発

情報が公開されているとみなされるのは、BMSが投資家に公開した場合と、投資家が合理的な期間、その情報に対処することが許可されている場合のみです。公開情報には、米証券取引委員会への申告書類やプレスリリース、bms.comに記載された情報、ならびにメディアを通じて広く報道され、BMSが確認している情報が含まれます。皆さんは、「空売り」「プット」「コール」オプションをはじめとするヘッジ取引を含め、BMSの有価証券をもとに短期的な投機的変動から利益を得られる取引に関与してはいけません。BMSの有価証券の売買について質問がありましたら、法務部にお問い合わせください。

情報資産の保護

私たちは、勤務時間や勤務地以外においても業務のほぼすべての局面で、コンピュータや情報システム、インターネット、電子メール、そしてモバイル端末を利用しています。私たちは、端末やサービスの利用時間や場所、所有者を問わず、業務を遂行する上で使用するデジタル端末やサービスのセキュリティを確保する責任を負っており、そのために適切な手段を講じます。私たちは、電子機器の使用や電子ツールを活用したコミュニケーションにもインテグリティの原則が全面的に適用されることを理解しています。また、業務遂行時、あるいはBMSに関する情報を電子メディアで参照する際は、社内外のソーシャルメディアサイトへの投稿も含めて、情報の秘密性とセキュリティに配慮し、プロとして慎重かつ誠意を持った対応をします。

以下のBMS会社規程をご参照ください。
BMS-POL-5 内部統制の適用

出張・会議・経費の 管理

私たちは最高レベルの倫理観に基づいて出張を手配し、経費を使用します。加えて、すべての経費を正確に計上します。

出張と会議

BMSは、業務上および科学的な正当性がある場合に、会議を開き、出張旅費を負担します。会社では出張者が交通手段や宿泊先、会議場所を選択するのをサポートする手順を設け、出張者や出席者の安全性と費用対効果、ならびに業務上および科学的な必要性を満たすまでの効率性のバランスを取れるようにしています。

経費

私たちは最高レベルの倫理観に基づいて会社経費を使用します。従業員の皆さんには良識に基づいて判断し、自身の業務に直接関係する合理的で正当な経費を負担し、精算することが義務づけられています。一般的な経費には、出張や接待、オフィス備品、郵便、配送、能力開発に関する費用が含まれますが、必ずしもこれらに限定されません。経費の不正使用や経費精算・領収書など証拠書類の偽造は固く禁じられており、違反すると現地の法令によって認められる範囲内で、雇用契約の解除を含む懲戒処分が科せられる場合があります。

以下のBMS会社規程を
ご参照ください。

BMS-POL-6 ↓

出張・会議・経費の
管理





私たちは最高レベルの倫理観に基づいて出張を手配し、経費を使用します。

会社規程インデックス

本業務行動倫理基準で参照した会社規程は
次の通りです。

規程番号	規程の名称
	BMS-POL-1 患者さんの保護
	BMS-POL-2 従業員の保護
	BMS-POL-3 業務の遂行
	BMS-POL-4 組織の管理
	BMS-POL-5 内部統制の適用
	BMS-POL-6 出張・会議・経費の管理

各規程をクリックして
ダウンロードする。

従業員の皆さんには、本規程の全文をBMS360または
<https://compgps.web.bms.com/companyportal.html>で閲覧できます。
本規程の要約(英語版)は、bms.comで公開されています。印刷版の入手は、
complianceandethics@bms.com宛にEメールを送信するか、書面で以下の宛
先にお問い合わせください。

Compliance & Ethics

Bristol-Myers Squibb Company
P.O. Box 4000
Princeton, NJ 08543-4000, USA



重要な連絡先情報

コンプライアンス・プログラム

BMS360上の法務・コンプライアンス部門のリンクから追加情報を入手できます。

BMS Integrity Line

ウェブアドレス: www.bms.integrity.ethicspoint.com



BMS Integrity LineはNavex Globalが提供する電話およびウェブベースの報告システムです。

各地域の電話番号はサイト (www.bms.integrity.ethicspoint.com) をご参照ください。

サイト上の専用フォームからも報告いただけます。

年中無休24時間対応です。

現地法によって許可される範囲で、秘密かつ匿名で報告ができます。報復行為を心配する必要はありません。皆さんの声が確実に届きます。

データ・プライバシー規制が適用される場合があります。

コーポレート・オンブズマンの連絡先

Eメール: ombudsman@bms.com

住所: Corporate Ombudsman
Bristol-Myers Squibb Company
P.O. Box 4000 Princeton, NJ 08543-4000

コーポレート・オンブズマンとの会話は、法令または公衆衛生や安全保護の目的から必要とされない限り、秘密が保たれます。

グローバル・プライバシー・オフィスの連絡先

Eメール: global.privacy@bms.com

電話番号: +1 877-578-4009

有害事象の報告

全世界で有害事象報告用のホットラインを設置しています。

- 連絡先情報は以下のウェブサイトから入手できます: www.globalbmsmedinfo.com
- BMSのコンピュータにアクセスできない場合: 有害事象を上司に報告してください。

製品の偽造、改ざん、窃盗または流用の可能性の報告

現地のコーポレート・セキュリティ、ならびに品質担当者に24時間以内にご連絡ください。



WORKING TOGETHER FOR *Patients*



345 Park Avenue • New York, NY 10154-0037 • 212-546-4000

www.bms.com

© 2018 Bristol-Myers Squibb Company. All rights reserved. 2018 年2月